

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《3年生・1学期 SDGsを通して、地域に関心を持ち、住みよいまちづくりを考える。》
- 2 単元名 『SDGs 私たちにできること』 (全17時間=実施時期:5月~7月)
- 3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

新聞の特集記事を使ったグループワークや出前講座を通してSDGsについて学び、地域のために自分ができることを考える。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

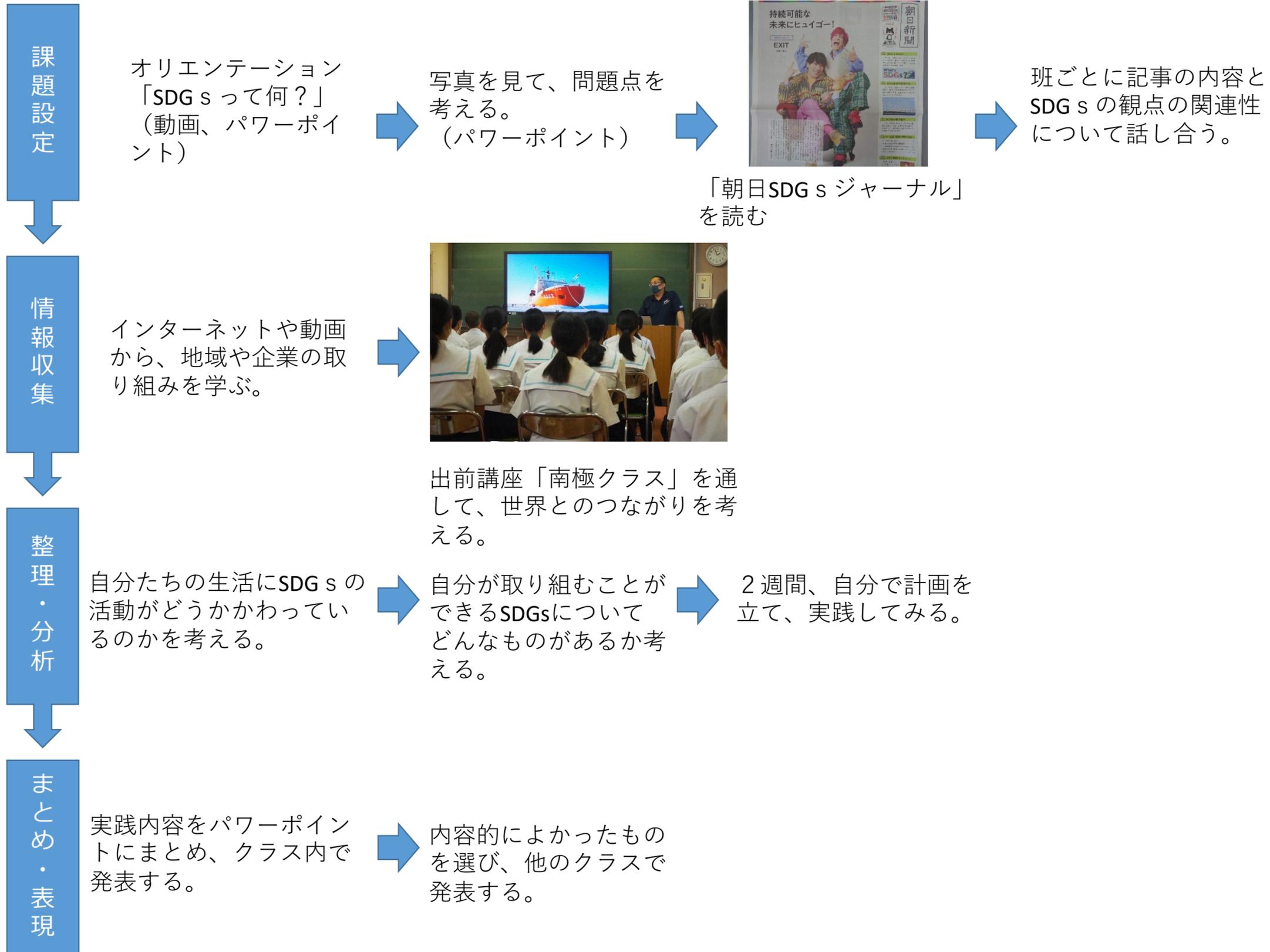
		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		SDGsについて学ぶ。	調べ学習・出前講座	グループワーク	自分ができるSDGsの取り組みについて発表する。
引き出したい姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)				SDGsを意識することで、地域の環境を守り、住みよい町づくりに貢献できることを知る。
	やり抜く力 (忍耐と向上心)				
	まき込む力 (発信と協働)			家庭の中でできるSDGsについて考え、提案、実行する。	
仕掛け・工夫	もの	「朝日SDGsジャーナル」を読む。	インターネットや動画から地域や企業の取り組みを学ぶ。		
	ひと		出前講座「南極クラス」を通して、世界とのつながりを考える。		
	しごと(こと)			新聞の記事の内容について、SDGsとどこがどう関連しているのか、グループで話し合いをする。	
アウトプットの工夫					

5 他教科・領域、学校行事等との関連

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

ミサワホーム

◆単元のねらい「グループワークや出前講座を通してSDG s について学び、地域のために自分ができることを考える。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 「南極クラス」での講演から、SDG s が身近な問題であるとともに、世界ともつながっていることを感じる事ができた。
- △体験活動を取り入れないと、実感できるものにはならないが、3年生の1学期としては時間がかかりすぎる。そのため、今年は夏休みの登校日を発表の時間に充て、時間の確保をした。
- ☆来年度は修学旅行が1学期にあるため、今年よりもさらに時間の確保が難しいのではないかとと思われる。